

令和6年度 福岡市総合図書館新ビジョン推進に関する点検評価会議 議事録

- 1 日時：令和6年8月28日（水）15：00～16：45
- 2 場所：福岡市総合図書館 3階 第1会議室
- 3 出席者：委員）上村篤子、岡本洋幸、白川義人、白根恵子、田中 優（計5名）
事務局）橋本総館長、松崎館長、永長運営課長、立石図書サービス課長、
高巣文学・映像課長 他
傍聴人）1名

4 議事録

1. 開 会

委員紹介／事務局紹介／総館長挨拶

2. 議題

- (1) 令和5年度新ビジョン事業計画の取組状況及び内部評価について
事務局より「令和5年度新ビジョン事業計画の取組状況及び内部評価について」説明。

	<p>【事業別の評価調書について】</p> <p>《図書館像：誰もが楽しめる魅力ある図書館》</p> <p><2 貸出・返却拠点等の新設></p>
委員	貸出・返却拠点について、新設を検討している場所はあるか。
事務局	返却拠点について現在検討を進めている場所があり、結論が出たら公表したいと考えている。
委員	返却拠点について適正な数が分からないが、人口に応じた設置数や利便性の観点からの目標数などはあるのか。
事務局	返却拠点については、利用者の利便性の向上を考慮するとともに、交通の便のよい公共施設において設置を推進している。現ビジョンでの返却拠点の目標数は27地点だが、既に26地点に設置し、また、1地点での新設を現在検討している。
委員	民間の商業施設でも返却拠点が設置されており、よいアイデアだと思っている。民間の商業施設は図書館の返却拠点の新設を歓迎すると思うが、実際に民間の商業施設と話しをした時の反応はどうだったか。
事務局	民間の商業施設側から返却拠点の設置について申出があることもあり、図書館の取り組みについて理解してもらい、協力してもらっている。
委員	<p><3 休館日、開館時間の見直し></p> <p>開館時間について、曜日や季節、立地場所などで柔軟に変更してはどうか。「持続的な」というキーワードを考えたときに、長時間、休みなく開館しているというの</p>

	<p>は現実的ではないと思う。柔軟な対応によりスタッフの負担感も軽減され、持続的な運営につながるのではないかと。</p>
委員	<p>全体で共通のサービスを行うのではなく、1拠点だけでも開館時間や蔵書の種類などを周辺住民に合わせた独自のサービスにしてもよいのではないかと。</p>
委員	<p><5 快適な空間づくり> こども図書館及びビデオライブラリーのレイアウト変更を行うに当たり、おはなし会の人も含め利用者の意見は反映しているのか。</p>
事務局	<p>こども図書館については、おはなし会の人にも意見を聞き、利用者の利便性を考慮したリニューアルを検討している。</p>
事務局	<p>ビデオライブラリーについては、現在VHSを開架で置いているが、VHSが製造されなくなり、常連の利用者は10人程度である。そのため、閉架に置くように変更し、空いたスペースでデジタルサイネージにより常時映像を上映する予定である。また、収蔵している映画のポスターやチラシなど、映画に関するフィルム以外の資料を展示するよう準備を進めている。</p>
	<p>《図書館像 : さまざまな情報を求める市民に応える図書館》</p>
委員	<p><6 資料収集の充実> B評価とした具体的な理由を尋ねる。</p>
事務局	<p>具体的な目標冊数はないが、利用者から、「古い本を新しい本に買いなおしてほしい」、「このような本を購入してほしい」という意見がある。また、ヤングアダルト層の利用が少ないという課題があり、ヤングアダルト向けの図書館の充実を図る必要があるなど、不十分などところがあることを踏まえてB評価としている。</p>
委員	<p>子どもたちに人気でなかなか借りられない本が、電子図書館で借りやすくなれば、子どもたちの読書に触れる機会が増えてよいのではないかと。電子図書館で借りられるようにしてもらいたい。</p>
事務局	<p>電子図書館においては、人気本が必ずしも電子書籍化されているわけではなく、また、貸出はコンテンツ1点につき同時に1人が標準である。しかしながら、業者からの提案を受け、令和6年度は複数人が同時に借りられるコンテンツを1年間の期限で試行的に導入している。多くの人が借りられることが望ましく、有効活用できればと思うが、希望している書籍が必ずしも同時利用できるわけではないため、状況を見ながら取り組んでいく必要があると考えている。</p>
委員	<p><7 レファレンス（相談）サービスの充実> 自分自身、レファレンスについてよくわかっていない。レファレンスの敷居の低さや、何ができるものなのかを今以上にアピールしたほうがよいのではないかと。</p>

委員	<p>図書館に関わる者として、市民に対して図書館がレファレンスサービスを行っていることをもっと知らせる必要があると痛感している。例えば料理に関するレファレンスの事例について記載したカードを関連本の近くに掲示するとレファレンスサービスの周知につながるのではないかと。</p>
事務局	<p>レファレンスだよりは発行しているが、より有効な周知方法を検討したい。また、今回の図書館システムの更新でAIを活用した探索機能が搭載され、利用者はより蔵書を探しやすくなると思う。この機能についても利用者に対してPRしていきたい。</p>
委員	<p><8 課題解決型支援の充実></p> <p>情報化により、利用者はインターネットで調べてわからないことをレファレンスで聞くようになり、レファレンスの質問内容のレベルが上がってきていると感じている。そのため、レファレンスを行う職員の研修を充実させる必要があると思う。</p> <p>また、私の所属する会員制の経済の専門図書館では、レファレンスでの利用者への対応の切り口を検討するに当たりチャットGPTを活用しているが、有用だと感じている。今回総合図書館ではAIを導入するということであるため、期待している。</p>
委員	<p>これから親になろうとするカップルに対しても、本の読み聞かせが親子の関係づくりや子どもの心の成長に役立つということについて講習ができないかと考えている。保健関係の機関と共働する必要があるとは思いますが、実施について検討してもらいたい。</p>
事務局	<p>子どもが生まれる前のカップルに対する取組みについて、総合図書館及び分館での実施を今年度から計画しており、実施する予定である。</p>
委員	<p><9 団体貸出先の拡大></p> <p>放課後児童クラブに対して公民館の団体貸出登録率が低い理由を尋ねる。</p>
事務局	<p>公民館については、既に独自で図書をそろえていることや、地域文庫の活動で公民館に本を置いていること、また、スペース等の問題などから登録率が低いものと考えている。公民館に団体図書を有効利用してもらい、利用者に本を読んでもらえるよう、今後も公民館に対して働きかけを行っていく。</p>
委員	<p>他都市では5年などの長いサイクルで団体貸出を行っていると感じたことがあり、長期貸出がされれば団体登録する公民館が増えるのではないかと考えているが、本市の団体貸出の貸出期間を尋ねる。</p>
事務局	<p>3か月、4か月、6か月の貸出期間を設けている。今回の意見を参考に、より長期の貸出についても検討したい。</p>

<p>委員</p>	<p><10 地域読書活動への支援> 公民館の団体登録率が53%と記載されているが、これは9 団体貸出先の拡大に記載されている数値と同じものか。</p>
<p>事務局</p>	<p>9 団体貸出先の拡大と記載が同じでわかりにくいとの意見があり、令和6年度から計画の表現を変更しているが、同じ数値を用いている。令和5年度の計画が重複しておりわかりにくいいため、来年度から見直す。</p>
<p>委員</p>	<p>各分館と公民館の連携が今以上に進むとよいと思っている。早良南図書館で行っている公民館でのおはなし会をほかの分館でも進めてもらえれば、図書館の利用も増えると思うがどうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>早良南図書館は公民館や集会所で主に高齢者向けのおはなし会を行っている。同様の取組みが今後ほかの分館にも広がるよう検討する。</p>
<p>委員</p>	<p><11 市関連施設の図書室の相互協力> 職員が一生懸命取り組んだ結果が2年連続B評価というのはハードルが高いように感じるが、今年度改善策などはあるのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>科学館については六本松に移転して利用者が多くなった一方で、特に議会図書室は市職員も含め市民も利用する機会があまりなく、そのほかふくふくプラザ等も併せてPRし、利用促進につなげたいと考えてB評価としている。</p>
<p><図書館像 : 子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館></p>	
<p>委員</p>	<p><12 モデル児童図書リストの配布> モデル児童図書リストについて、メーリングリストなどで直接対象の保護者に送付しているのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>メルマガ登録者に図書館のイベント等について案内を送付しているが、モデル児童図書リストの個別送付はしていない。</p>
<p>委員</p>	<p>とてもよいリストだと思っており、保護者からは求められている情報だと思う。イベント情報も含めチラシなど受け身の形ではなく、登録を促し、登録者に情報を積極的に出す形にすれば、ダイレクトに周知ができるのではないか。</p>
<p>委員</p>	<p>今の若いお母さんたちは必ずスマホで検索し、様々な人の評価等を見るなどして物事を選択している。モデル児童図書リストは図書館のホームページにアクセスしたら見られると思うが、検索したときにヒットしやすくなる工夫が必要ではないか。</p>
<p>委員</p>	<p>本市のLINEのアプリや学校が配信しているメールで教育委員会からのお知らせ等が届いている。可能であれば教育委員会と連携して、学校が配信しているメールで図書館からの案内が届くとよいのではないか。</p>

委員	<p><13 子どもの貸出カード作成推進> 貸出カードは紙のものだけか。</p>
事務局	<p>「ふくおかサポート」のサービスとしてデジタル貸出カードがある。</p>
委員	<p>図書館見学や小学生読書リーダー養成講座で貸出カードの作成を推進しているのはよいことだが、この項目をB評価としたのはそれ以外の方法でカード作成の推進ができると思ったためか。</p>
事務局	<p>個人情報を取り扱うため、小学生が貸出カードを作成するには保護者の了解を得る必要があると難しいところがある。学校と連携し、カードの作成につなげることができないかと検討はしているところである。</p>
事務局	<p>学習室について、紙の座席券で席を確保する形から、貸出カードを持っていればオンラインで事前に座席予約できるように変更する予定であり、図書館システムの更新と併せて8月15日号の市政だよりに掲載している。小学生は学習室をあまり利用していないが、中高生が学習室を利用するために貸出カードをつくり、それによって図書の利用につながることを期待している。</p>
委員	<p><14 ヤングアダルト層（12歳～18歳）への働きかけの強化> 個人的に評価の難しい項目だった。企画の内容がヤングアダルト層への働きかけに合っているかどうか分かりにくいので、解説をお願いしたい。</p>
事務局	<p>ヤングアダルト層は読書する時間も短く、貸出冊数も少ない状況にある。この層にも図書を借りて読んでもらうために様々な取組みを実施していることからA評価としている。一方で、この取組みの効果の有無やほかの方法がないかどうかについて検証し、事業を進めていく必要があると認識している。</p>
委員	<p>会社員時代の経験から、ユーザーを巻き込むことが重要だと考えている。ボランティアとして高校生に企画してもらったり、彼らが集う場所を軸に何かしてみると、何らかのヒントが得られるのではないかと。ターゲットが勉強しに来ない人なのであれば、それに対する取組みをする必要があり、ハードルは高いと思うが、きっかけとなるようなことを検討してほしい。</p>
委員	<p>同意見であり、ヤングアダルト層と協力して、講座や講演を企画するとよいと考える。 毎年実施している小学生読書リーダー養成講座によって、図書館に興味を持つ人が生まれていると思う。そこで終わらせず、受講者に協力を求めて企画を考えてもらえたらよいと思うがどうか。</p>
事務局	<p>教育委員会の担当部署とともに、中高生になった小学生読書リーダー養成講座の受講者を活用できるかどうか検討したい。</p>

委員	<p><15 読書活動ボランティア講座の強化> 読み聞かせコースやストーリーテリングコースのように、講義や実演があり、受講者が実習して講評を受けられるという講座は珍しいため、継続をお願いしたい。</p>
委員	<p>読み聞かせコースの受講者 40 人に対し、ストーリーテリングコースは 33 人、スキルアップコースは 15 人と人数が減少している理由を尋ねる。 また、これらの講座について修了証は発行しているのか。</p>
事務局	<p>受講者数が減少している理由は明確ではないが、読み聞かせコース、ストーリーテリングコース、スキルアップコースの順に受講するようになっている。 修了証については発行していない。</p>
委員	<p>3つのコース受講後に修了証をもらえ、肩書を得ることができると、公民館で読み聞かせなどの活動がしやすくなるのではないかと。修了証の発行が参加者を増やす方法の一つになるのではないかと。思う。</p>
委員	<p>県で実施していた絵本コンシェルジュなど、修了証が発行され、受講後に専門士となり、団体に登録され、講師となることもできる講座がある。しかしながら、例えば5年間の実績があるといっても人によって経験値は異なり、実力は様々である。経験の浅い人は様々なところで活躍したいという人が多く、経験が多い人は地域で同様の役を担っており、きちんと勉強してやりたいという人が多い印象である。修了証を発行する側と受ける側で経験値の認識に相違が生じるなど、トラブルが発生することもあり、修了証を発行するのであれば慎重にすべきである。</p>
委員	<p><16 学校図書館支援センターの充実> 学校図書館支援センターの存在が学校司書の大きな助けになっていると思うが、学校司書が学校ごとに配置されれば同センターの活動もさらに充実し、学校図書館自体が活性化して学校の先生も授業がしやすくなると思うため、増員を切に願う。</p>
	<p>《図書館像 : 総合図書館の特色を生かした図書館》</p>
委員	<p><17 図書館外施設での映像資料上映事業> 公民館の部屋の広さは分からないが、1回当たり平均約 21 人の参加者というのは予定どおりのものなのか。</p>
事務局	<p>上映している公民館の講堂は映画を観る場合には定数 30 人程度の広さである。図書館から集客数の希望を出しているものではなく、公民館には校区の実情に応じて集客してもらっている。</p>
委員	<p>利用者のほとんどは 65 歳以上であり、高齢者が映画を観た後感想を話すなどしてコミュニティの機会となるよい取り組みだと感じる。</p>
委員	<p>上映する映画には高齢者が若いころに見たようなものもあるのか。</p>

事務局	<p>総合図書館で収蔵しているアジア映画を、アジア映画ファンだけではなく、わざわざ映画を観に来ない人に観てもらうために、地域に出向いて上映するという事業である。そのため、「アジア映画を初めて見た」、「高齢になって動きにくいためなかなか映画館まで行かないが、久しぶりに映画を観た」といった感想が寄せられている。</p>
委員	<p>アジア映画も昔の日本と共通する部分もあるため、回想法的にもよいのではないかと思ったところである。</p>
事務局	<p>「アジア映画は外国の映画のため特別なものかと思っていたが、非常に普遍的なものがテーマだった」という感想もあっている。</p>
委員	<p><18 資料展示事業> 1階の壁面にあるショーケースの展示もこの項目に含まれるのか。</p>
事務局	<p>フィルムだけではなく映画に関するポスターやチラシなども多く収蔵しており、収蔵しているだけではもったいないため、それらを展示したらよいのではないかということと、映画を上映する際にその映画に関する資料を収集し、利用者により深く理解してもらおうということで実施している。特集を実施する際に、シネラの周辺に資料等を並べたり、メインエントランスからサブエントランスを結ぶ廊下のショーケースのうち2ケースに常時展示をするようにした。また、そのほかにビデオライブラリーを改装して資料を常時展示するという取組みを行う予定である。</p>
委員	<p><20 文学館の利用拡大> 上野英信の自筆資料のデジタル化についてニュースで見たが、大変よい取組みだと思った。これは文書資料部門の内容か。</p>
事務局	<p>文書資料部門の中の文学資料の取組みである。</p>
委員	<p>《図書館像：効率的で効果的な図書館運営》 <21 運営方法の検討></p>
委員	<p>人手不足と言われているが、図書館の有期職員への応募が減ったなどの変化はあるか。</p>
事務局	<p>本市では図書館司書は不足していないが、学校司書は不足している状況にある。</p>
委員	<p>本市は図書館司書が不足していないと聞いて安心した。他の都市では毎年4月になっても司書が足りず6月頃まで再募集をしているところもある。人手不足の対策を本市もあらかじめ検討しておいたほうがよいのかもしれないと思う。</p>
委員	<p>家族が早良南図書館は居心地がよいとよく行くようになった。あいさつだけでなく様々なことに細やかに対応されており、また、何かしらやっているという期待</p>

	<p>感もある。新しく開館してよかったと思う。</p>
委員	<p><22 図書館ボランティアとの共働の推進> ボランティアに依頼する業務は定例的なものか、それとも今後領域を拡大する予定があるのか。</p>
事務局	<p>例えば本の修繕など、定例的なもので、さまざまなことに従事してもらっている。指定管理者においても植栽などのボランティアを募集し、活動を行っている。</p>
委員	<p>今後ボランティア活動の幅を広げるつもりがあるという理解でよいか。</p>
事務局	<p>他都市の事例や、市民の交流等の観点も踏まえながら検討したい。</p>
委員	<p><23 職員の育成及び技術向上> AIに関わる研修をするということで素晴らしいと思う。レファレンスのところでも述べたが、私の所属する図書館でも本と関係のないと思われるパソコンなどのデジタルに関する質問が多く、それに回答しているところである。本市のデジタル化に関する会議に関するニュースを見た気がするが、同様の会議への出席や、デジタルに関する部署が図書館内部に設置され、そこが主催した研修の実施などを行っているのか。</p>
事務局	<p>AIの研修については10月1日から稼働する新図書館システムに円滑に移行するために実施するものである。デジタル化に特化した研修は行っていない。</p>
委員	<p>利用者のレベルの上昇に職員がついていくのが難しいという課題がある。得手不得手もあり、効果的な解決方法はなく、私の所属する図書館では職員に対して参考になる動画を紹介するなどのサポートを行っているところである。</p>
委員	<p>以前にもお願いしたが、大変力がつくため、国や図書館協会が実施している中長期の研修に年に1人でも参加できるようにしてほしい。</p>
委員	<p><24 施設の有効活用などによる財源確保> バナー広告の募集はうまくいっていないようだが、それ以外はとてもよい取組みだと思う。</p>
委員	<p>総合図書館に立派な会議室があると初めて知ったが、一般利用はできるのか。 郵便局では1か月チラシを置かせてくれるサービスを行っており、一事業主として地域の人に案内をするには便利なツールである。ホームページにバナーを出すよりも、人が出入りする場所にチラシを置けるほうがありがたいと思う。財源確保の方法としてチラシの設置を追加するように検討してほしい。市役所ではデジタルサイネージで広告が流れており、総合図書館でも同様の取組みがされたらよいと思う。</p>
事務局	<p>図書館条例に定められている、図書資料等に関する講演会、講習会、研究会、映</p>

	<p>写会等のための総合図書館の施設を利用する場合という要件を満たせば会議室については一般利用可能である。</p>
委員	<p>図書館が稼ぐというのはすばらしいことだと思うが、その収入は本の購入やシステム更新など図書館の予算に充てられるのか。</p>
事務局	<p>図書館の事業に充てることができる。</p>
委員	<p>図書館において、有料会員になれば普段借りられない本が借りられるようになるなどの有料サービスを行う予定はあるか。</p>
事務局	<p>図書館法において図書館資料は無料と定められているが、総合図書館を設立する際に、図書資料部門、文書部門、映像部門の3部門のうち図書資料部門のみを図書館法に基づくものとし、文書部門と映像部門は対象外とする条例を制定した。映像部門においてはシネラを有料としており、他自治体等への映像フィルムの貸出も有償としている。</p>
委員	<p>【評価調書（総括）について】</p> <p>成果指標や目標数値は前年度との比較となっている。それも重要ではあるが、例えば貸出冊数については市民一人当たりの数値もあったほうがよいのではないか。人口が同程度の神戸市は貸出冊数が人口1人当たり3.9冊、近隣の北九州市は人口一人当たり3冊ほどである。一方で、本市は人口1人当たり2.4冊ほどとなっている。他市と比較した上での具体的な目標値を設定してもよいと思う。登録者についても人口に対する割合を出すと、より具体的な数値になるのではないか。</p>
委員	<p>目標値の設定については先の委員と同意見である。</p> <p>細かく目標が定められており驚いている。25項目それぞれ重要度やまだできることがあるかどうかなどが異なり並列ではないと思う。AからEまでの一律の評価方法は個人的には馴染まなかった。交流の拠点という大きなテーマに触れた事業がないように感じる。満足度が高いが、利用者が減っているということはコアなファンだけが満足しているという事業になっているのではないか。次年度以降は来館者の幅を広げるためには新たな軸を取り入れる必要があると思う。単純な考え方では人気の本が足りないなどの短絡的な議論になってしまうため、これからの2年間で何らかのきっかけができれば市民としてうれしいと思う。</p>
事務局	<p>事業項目すべてが同じ重みのものではないと承知している。役所的な計画を立てるとそれを管理するためにはそれぞれの項目に分けて評価を行う仕組みになる。令和7年度までは現ビジョンのため項目を入れ替える等は難しく、来年度も同様の項目で評価をすることになる。令和8年度以降の取組みについては今後2年かけて検討していくことになり、目標設定の方法や実施する事業、項目の分類などを検討する必要があるが、これらについては点検評価会議委員が所属する運営審議会において今後検討を進めていくことになる。</p>

※1～25は事業計画一覧表の事業内容

- (2) 令和5年度新ビジョン事業計画の外部評価の提出について
事務局より外部評価提出方法、評価調書の公表について説明し、委員からは異議なし。

3. 閉 会
館長挨拶